

中長距離陸上貨物輸送の鉄道利用による物流費用の低減効果

鷹国権 武藤雅威

経済産業の変貌や地球環境の変化に応じてロジスティクスの合理化と物流の総合化及び効率化が求められ、鉄道輸送の役割を再考する必要がある。

本研究では鉄道利用による物流に及ぼす影響を定量的に計るために、まず貨物輸送の運賃制度とトラックの運賃設定に与える複数の影響要因を分析するとともに、荷主の運賃実態により貸切トラック距離制運賃の構成メカニズムモデルの構築を試みる。それによりトンキロ当たりの貸切トラック運賃に及ぼす鉄道利用のインパクトを考察する。また、主要荷主の鉄道利用実態から鉄道コンテナの実態運賃モデルを構築する。さらに貸切トラック距離制運賃の構成メカニズムモデルと鉄道コンテナの実態運賃モデルに基づいて、各種トラックと比較して鉄道輸送の優位性がある輸送距離範囲を把握する(図)。それらを踏まえて貨物輸送の鉄道利用による物流費用の低減効果を明らかにする。

(鉄道総研報告, 2008年6月号)

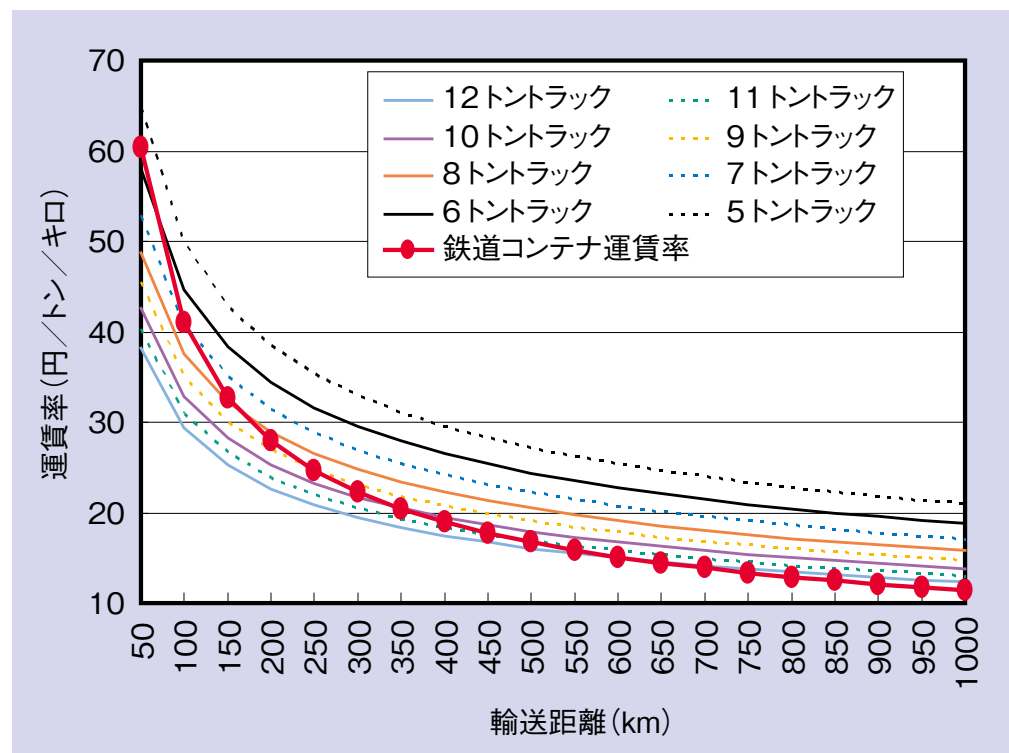


図 鉄道と貸切トラックとのトンキロ当たりの運賃に関する比較